

けんぽんちゃくしよくりょうかい まん だ ら ず
20. 絹本著色両界曼荼羅図

■ 指定日

昭和60年3月26日

■ 種別

兵庫県指定有形文化財 絵画

■ 年代

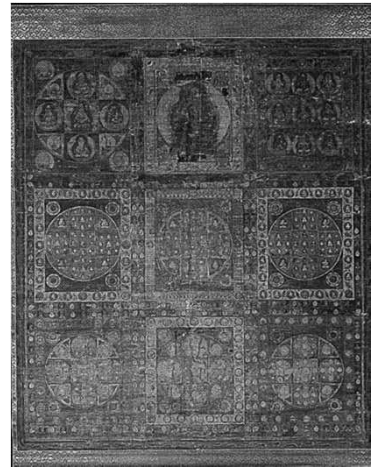
鎌倉時代

■ 所在地

朝来市山東町楽音寺
(姫路市本町 兵庫県立歴史博物館寄託)

■ 所有者

楽音寺



■ 内容

曼荼羅は仏教界、特に密教において最も重要な宗教原理・宇宙世界観・悟りの世界と仏・菩薩・明王・諸天を一定の方式により象徴的に図示したものである。また芸術作品でもある。

当両界曼荼羅図は、寛永3年(1626)の高野山全秀の裏書のとおり、もともと楽音寺の什物であったが、一乱により散失して高野山に移っていた。その後、修復・寄進という形で返還され、現在に至っている。